



そうわ通信3月号

《学校教育目標》豊かな心もち 自ら考え たくましく生きる子の育成
～学び合い 高め合う なかまづくり～

培ったことを生かして未来へ… ～卒業証書授与式～【3月21日(木)】

6年生にとって大きな節目となる、第73回相和小学校卒業証書授与式が3月21日(木)に、暖かな日差しのもと、無事挙行することができました。この卒業式と入学式については、参加できる保護者が限定されるので、本通信で、その様子を紹介させていただきます。また、ホームページでも紹介していますので、そちらもぜひご覧ください。

今年度の卒業生は8名。個性豊かであり、下級生に対してとても優しく子供たちです。一人一人のよさを生かした学級経営もあり、「みんなで」でばかりではなく、個を基本として、必要な時にベクトルを同じにすることができ、多様性を大切にする本校の理念を体現していたと思います。

在校生もとても立派でした。こちらら全体での式学習は短期集中で行い、型よりも心を大切にする指導により、呼びかけと歌、座っている姿勢も素晴らしかったと思います。

明日から残り2日の登校日は、きっと空いてしまった8名の存在の大きさを感じてしまうのでしょうか、来たる令和6年度に向け、次への第一歩を歩み始めたいと思います。



子育てアラカルト⑳ ～心をつかむ～

過日、町内他園・他校の園・学校だよりを拝見し、「手をかけて 手が離れたら、目をかけて 目はなれたら、心はなすな」という言葉が飛び込んできました。これは言葉のとおり、子供の成長過程における親の立ち位置を示しているものとなります。この意味を、改めて考えてみました。

私は、先生たちに、子供たちのことを話題にしたり評価をしたりする際に、「～～ができない」という表現を使わぬよう伝えています。そもそも子供という存在は、何もできない状態でこの世に命を受け、様々な経験をとおして知識・技能を得たり、他者と関わる中で喜怒哀楽を学ぶことで心が耕されたりします。その成長過程にある子供たちが「できない」ことがあるのは当たり前で、「だからどのような指導・支援が効果的か」を考えるのが教育そのものだと考えます。

冒頭の言葉は、まずは世の中の道理を、大人が有している経験や自らの背中で丁寧に伝え、その後はもともと知的好奇心や知的探究心をもっている子供たちの背中を押したり環境を整えたりすることが必要なのでしょう。そして、自律(自立)し、子供たちのことが見えにくくなってきたとしても、大人からの愛情は不変であることを伝えたいものです。子供たちは、私たち大人にとって宝そのものです。

校内どんどこ焼き 5・6年【3月1日（金）】

昨年度の6年生により、総合的な学習の時間での学びから実現した校内どんどこ焼きは、今年度の5・6年生から「今年もやってみよう」という思いから継続されました。相和地区（大井町）再発見を総合的な学習の時間で学んできた本校の子供たちは、地域行事の大切さを、この活動から学んだことと思います。

地域の方々の支援を受け、団子づくりから始まり、地域で受け継がれている竹を用いた竿を提供していただき、それを使って、楽しそうに焼いていました。私もいただきましたが、砂糖醤油につけて食べた団子の味は格別でした。実行力のある相和っ子たちの姿が、また一段とたくましく見えました。



お別れスポーツ大会 6年【令和6年3月7日（木）】

この時期恒例の「お別れスポーツ大会」が、6年生の企画のもと、教職員との交流会として実施されました。

サバイバルドッジボールでは、教職員チームが圧勝するかと思いきや、6年生の作戦が功を奏し、6年生の2勝1敗で、見事に子供たちの勝利でした。

6年生の底知れぬ体力とチームワークに6年間の成長を改めて感じ、教職員も敗れはしましたが、うれしくもありました。スポーツをとおして得られることは多々あるので、何らかの形で6年生の子供たちもスポーツに関わってほしいと実感した時間でした。



大井保育園との交流会 1年【3月5日（火）】

例年、1年生は相和幼稚園の年長組との交流を一年をとおして計画的に交流しているところですが、今年度に限っては年長児が不在のため、いつもはできる経験が得られない状況にあります。そこで、大井保育園の園長先生にお願いして、この時期となってしまいました。保育園の年長組20名弱と交流することができました。

園への往復は徒歩でしたが、子供たちは交流の仕方をいろいろと思い描きながらだったようです。「年長さんに、（ドッジボールの時に）ボールをゆずってあげよう。」「優しく投げて怖くないようにしましょう。」「いっぱい話しかけよう。」等の言葉が聞こえてきて、2年生になる心構えは、すっかりできているようでした。

さて、いざ交流が始まると、様相は一変。思いのほか年長組が遅く、配慮どころではなくすべて全力で取り組みましたが、ドッジボールでは負けてしまいました。これも経験。次の日から、休み時間にドッジボールの練習が始まったことは言うまでもありません。



学校ホームページの活用について

昨年より試行運用してきた学校ホームページですが、多くの保護者の方々に閲覧いただき感謝いたします。各学級担任発行の通信をホームページ内の「そうわ日記」に移行し、なるべくスピード感のある情報提供に心がけてきましたが、いかがだったでしょうか。

SDGsの視点から、学校においてもより一層ペーパーレス化を進める時代となり、今後はこのホームページのさらなる活用を図っていく予定です。

つきましては、重要な情報をホームページをとおして提供していくことも視野に入れていきますので、日頃から定期的にご覧くださいますようお願いいたします。詳細は、新年度になって改めてお知らせします。

諏訪妃菜先生、ありがとうございました！そして、お元気で！

年度途中ですが、2年担任の諏訪先生が3月6日から産前休暇に入りました。諏訪先生は臨時的任用職員のため、育児休業明けに本校に帰ることがないので、このタイミングで離任式を執り行いました。

諏訪先生は、昨年3月に大学を卒業し、4月から初めて教員として本校に赴任しました。もちろん戸惑うことが多かったと思いますが、積極的に他の先生たちから学び、今では熱心に授業準備をし、少しでも子供たちの学びが充実するよう、頑張っていました。きっと今後も学校現場で活躍できる人です。しかし、まず今はプライベートを大切にしてほしいと思います。

なお、今後の2年生の担任は、教務主任である善浪邦元総括教諭となりました。日頃から何事にも挑戦し、頑張り屋の2年生が、無事に3年生になる心構えをもてるよう、残りの日々も引き続き一人一人を支援していきます。

諏訪先生、これまでありがとうございました。そしてお元気で……。

